

出石  
いし  
し  
城下町

# 伝建 かわら版



平成 25 年 2 月 25 日発行 編集／豊岡市・豊岡市教育委員会（出石総合支所 地域振興課：TEL0796-21-9025）

## 八幡伝建地区 視察研修・参加者募集!!

2月1日、出石まちなみ保存会役員会が開催され、恒例の役員先進地視察研修を右のとおり実施することが決まりました。

今回は、町並みや住民活動のほか、空き家対策について視察します。

バス座席にまだ余裕がありますので、役員以外の住民等関係者の参加を募集します。

ぜひご参加ください。

**近江八幡市八幡伝建地区**は、平成3年に選定された重要伝建地区です。

その町並みは、天正13年（1585年）に豊臣秀次（豊臣秀吉の甥）が八幡山に城を築いたことに始まり、今なお碁盤目状の整然とした町並みが残されています。

文禄4年（1595年）に廃城となりますが、交通の要衝としての地の利を活かし、商業町として発展、繁栄しました。

特に新町や永原町にはかつての近江商人の家々が立ち並び、八幡堀に面した土蔵群は往時の繁栄を偲ばせています。

### <視察研修のあらまし>

- ☆日 時 平成25年**3月12日(火)**  
午前8時00分集合・出発  
午後8時00分帰着(予定)
- ☆集合場所 出石総合支所 南側駐車場
- ☆視察先 滋賀県 **近江八幡市八幡伝建地区**
- ☆募集対象 出石伝建地区の関係者ならどなたでも
- ☆募集人数 22人(保存会新旧役員優先のうえ、先着順)
- ☆参加費 保存会の会員(地区住民)は 1,000 円  
(その他の方は昼食代等自己負担)
- ☆申込期間 **2月26日(火)~3月7日(木)**
- ☆申込方法 市出石総合支所 地域振興課  
(Tel:21-9025)までご連絡ください



八幡伝建地区の町並み（近江八幡市観光物産協会HPから転載）



# よみがえる町家、光彩を放つ！

平成24年度の伝建地区保存事業が1月までにすべて完了しました。

文化財として建物の価値を損ねないように修理した建物は、ますます磨きがかかり、出石城下町の風情を高めました。

町並み保存に理解をもって伝建事業に協力いただいた所有者のみなさまに感謝し、修理前後（修景前後）の外観写真と事業の概要を紹介します。

用語

「修理事業」：伝統的建造物を修理する事業

「修景事業」：伝統的建造物以外の建物の改修、新築等において、その外観を周囲の歴史的町並みに調和させる事業。

## 1 《K家住宅主屋》（田結庄）



### 【修理前】

角地で店舗併用住宅だった建物。昭和初期の建築のため、2階までが高く、大きな持送り板が特徴。しかし、建具はすべてアルミサッシになり、ショーケースや倉庫部分が増築され、当初の姿が改変されていました。また、空調室外機も下屋根上に設置されていました。



室外機はこの中に！

内側にアルミサッシ！

耐震格子壁を設置！

### 【修理後】

後で設置されたショーケースや倉庫部分を撤去し、古い写真を元に、開口部はすべて木製建具にしました。開口部が多く、耐震上問題がありましたが、外観は変えられないため、耐震格子壁を内部に2箇所設置して耐震性を向上させました。外壁に取り付けてあった空調機は、壁に埋め込んですっきりと見せました。漆喰もすべて塗りなおすことで建物全体が輝きを取り戻しました。

## 2 《K家住宅離れ》（修景）



### 【修景前】

昭和40年頃に建築された建物（右）は洋風で、周囲の町並みと調和していませんでした。屋上の洗濯物干し場も生活上必要な設備ではありますが、できれば通りからは見えない方がよかったです。

なんと、塀のような1枚壁！



伝統的な意匠を再現！

### 【修景後】

修景事業として伝統的な意匠にこだわって改築し、見事に町並みの価値を向上させました。2階建てに見える壁は、部屋の外壁でなく、塀のような1枚壁。その内側には太陽の光が降り注ぐベランダ（洗濯物干し場）を設置し、そこに空調室外機も集中して設置することで、町並みの連続性を保つとともに、外観をすっきりと見せることに成功しました。



### ③ 《N 家住宅主屋》（八木）



#### 【修理前】

1階建具はすべてアルミサッシに  
 改変され、2階の木製建具も老朽化  
 していました。また、下屋根も改変  
 され、建築当初の位置から高くなっ  
 ていました。

建具をすべて造り直し、漆喰を塗れば華やかに！



#### 【修理後】

建具を木製で造り直すとともに、下屋根を建築当初の  
 位置に造り直しました。また、内部に多くの耐震金具を  
 設置して耐震性を向上させました。事前の調査によりわ  
 かった当初の色に合わせて柱や建具を最後に塗り直し、  
 眩しいほどに華やかになりました。

### ④ 《I 家住宅主屋》（田結庄）



#### 【修理前】

1階出窓部分が増築され、2階建  
 具もアルミサッシに改変されるな  
 ど、明治期に建築された建物の風情  
 が減少していました。

1階正面に壁面がないため、左右  
 方向の耐震性も不安がありました。

実は、このすぐ内  
 側に耐震格子壁！



この足元の意匠が「出  
 石らしさ」の一つ！

#### 【修理後】

出窓を撤去し、石積、土台、束、框、その上に木製建  
 具という出石の典型的な意匠を復原したことにより、町  
 家の風情がよみがえりました。また、耐震壁を胴差や土  
 台と堅結して建具の内側に設置することで外観に影響を  
 与えることなく耐震性を向上させることができました。

### ⑤ 《K 家住宅主屋》（田結庄）



#### 【修理前】

明治期の建物で、全体的に老朽化  
 が進み、外観だけでなく、基礎の強  
 化や構造材の取替えが必要でした。

屋根瓦も傷み、葺き替えが必要で  
 した。

柱、壁材は元のま  
 ままで！



【修理後】  
 「新築した方が早い」とまで言われた難工事では  
 したが、取り壊さずに丁寧に修理することで、出石に  
 とって貴重な伝統的建造物がまた一棟よみがえり、  
 町並みの魅力を高めることができました。



お願い  
伝建地区内で建物の新增改築、取り壊し等を行う場合や、看板、室外機を設置する場合は、事前に市の許可を受けなければなりません。早めに連絡くださるようお願いいたします。

# 出石・町家フォーラム 開催！

入場無料

申込不要

伝建事業の建築専門家集団としておなじみの出石まちなみ設計士会が、このたび「出石伝統的町家外観デザイン集」を発刊し、その記念事業として「出石・町家フォーラム」を開催されます。

「出石の町家の特性やその価値を多くの方に知っていただき、これからの出石のまちづくりを考えたい」というもので、講演会とパネルディスカッションのほか、発刊されたデザイン集もご覧いただけます。

どなたでも参加できますので、ご来場いただきますようご案内いたします。

- 開催日時 3月10日(日)  
午後1時30分から午後4時
- 開催日時 福住地区交流センター  
(豊岡市出石町福住 460-1)
- 内 容  
▽基調講演 「出石城下町の町家と町並み」  
・講師 京都府立大学大学院教授  
大場 修氏
- ▽パネルディスカッション  
「町家の美しさをどのように未来に伝えるか」
- 主 催 出石まちなみ設計士会
- 協 力 豊岡市・豊岡市教育委員会
- お問合せ先 出石まちなみ設計士会事務局  
(株福岡建築事務所)  
TEL : 0796-52-6117

## 平成26年度 伝建事業希望は

5 月 ま で

平成26年度(再来年度)の伝建事業実施希望(補助金交付希望)物件を募集します。希望者は、次のとおり「伝建修理・修景事業希望届」を提出してください。

- 募集物件 市の伝建事業補助金を利用して行う次の事業の建物  
・修理事業：伝統的建造物の修理、外観の復原  
・修景事業：伝統的建造物以外の建物を町並みに調和させる改修、新築等
- 申請書類 出石総合支所2階の地域振興課にありますので連絡ください
- 提出締切 **5月31日(金)必着**(5月まで待たなくても、早めにご連絡ください。)
- 提出先 **物件所在地の区長さんへ(3月までは、平成24年の区長さんへ)**
- 問合せ先 出石総合支所 地域振興課 (TEL : 0796-21-9025)

出石まちなみ保存会役員 加藤芳則さん(宵田)から一言！

伝統的建造物や町並みの保存修理は、古い町並みを保つに必要不可欠の仕事であると思います。日本の建造物は大方材木と土で造られていますので、長い年月の間に火災や水害、地震などで倒壊または焼失したりして姿を変えてしまいます。出石も過去に大火に見舞われて姿を消した建物が数多くあったと思います。

出石は但馬の小京都。建物や町並みは古く、この歴史は一朝一夕では成りません。御先祖の方々が遺した温かみのある伝統的な町並みを保存し次世代に遺すことは、今に生きる我々の使命です。

火の用心！

修理現場から

文化力

POWER OF CULTURE